

## 鋳 工 業

本県鋳業の主なものに砂鉄鋳と天然ガスがあり、国内地下資源とし重要視されるに至つた。

これが採掘は近年急激に上昇し、昭和33年の砂鉄鋳生産量は179千トン前年に比べ8.9%増加し天然ガスにおいては利用度の拡大に従つてその生産量も一躍61千立方メートルに達し前年より42.5%と増加した。

つぎに製造工業について昭和33年工業調査の結果よりみると、工場数7 102、従業者数 83千人、前年より工場数は179減少し、従業者数では2 392人の増加となつた。

またこれら工場を従業員規模でみると家内工業とみられる3人以下の工場が多く54%を占め、比較的規模の大きい300人以上にいたつては18を数えるに過ぎない。

なお出荷額は1220億4千万円、前年に比し10.1%下つた。これは鉄鋼製品をはじめとして大部分の価額安が原因とみられる。

また32年出荷額は全国都道府県中第17位である。

鋳工業生産指数（昭30年＝100）は年々上昇をみせ昭和33年には総合で 164.6である。鋳業は378.8、特に金属鋳業は531.2と急激な上昇率を示した。また、製造工業は162.8、中でも化学工業、電気機械器具製造業の伸びはいちじるしい。

なお全国指数は 145.4であり前年に比し 0.6%の上昇だが本県は7.4%の増加となり全国の伸びを上廻り、今後も更に上昇する傾向にあるので本県鋳工業の前途はあかるい。